

a は定数とする。 x についての不等式 $ax^2 - (2a+1)x + a+1 < 0$ を、次の各場合について解け。

(1) $a=0$

(2) $a>0$

(3) $a<0$

(07 富山県立大)

解説

(1) $a=0$ のとき

$$-x+1 < 0 \quad \therefore x > 1$$

(2) $a \neq 0$ のとき

$$ax^2 - (2a+1)x + a+1 < 0$$

$$\{ax - (a+1)\}(x-1) < 0$$

$$a \left\{ x - \left(1 + \frac{1}{a} \right) \right\} (x-1) < 0$$

$a > 0$ のとき

$$\left\{ x - \left(1 + \frac{1}{a} \right) \right\} (x-1) < 0$$

$a > 0$ であるから、 $1 + \frac{1}{a} > 1$ より

$$1 < x < 1 + \frac{1}{a}$$

(3) $a < 0$ のとき

$$\left\{ x - \left(1 + \frac{1}{a} \right) \right\} (x-1) > 0 \quad (\text{不等式の向きを逆にする})$$

$a < 0$ であるから、 $1 + \frac{1}{a} < 1$ より

$$x < 1 + \frac{1}{a}, \quad 1 < x$$

別解

(2), (3)において、 $\{ax - (a+1)\}(x-1) < 0$ のまま両辺を a で割らないで

$y = \{ax - (a+1)\}(x-1)$ と x 軸との共有点を求めて、

$a > 0$ のとき $y = \{ax - (a+1)\}(x-1)$ は下に凸の放物線、

$a < 0$ のとき $y = \{ax - (a+1)\}(x-1)$ は上に凸の放物線として、

$y < 0$ となる解となる x の範囲を求めてもよい。